

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 所沢市保健医療計画推進委員会
開 催 日 時	令和5年11月21日(火) 18時30分から20時30分
開 催 場 所	所沢市保健センター 2階 多目的ホール
出 席 者 の 氏 名	※別紙 「所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿」のとおり
欠 席 者 の 氏 名	
説明員の職・氏名	様式第2号発言者のとおり
議 題	(1) 第2次所沢市保健医療計画令和4年度取組状況評価シート 【第3章～第5章】(案)の確定について (2) 第2次所沢市保健医療計画令和4年度取組状況評価シート 【第1章・第2章・第6章】(案)の確認について (3) 所沢市歯科診療所あおぞらについて (4) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会条例 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会の公開及び会議録の取扱いについて ・ 資料1-1 「第2次所沢市保健医療計画令和4年度取組状況評価シート【第3章～第5章】(案)」 ・ 資料1-2 【第3章～第5章】所沢市保健医療計画推進委員会 説明要旨 ・ 資料1-3 下がる程目標値に近づき、達成度が高くなる指標 ・ 資料2-1 「第2次所沢市保健医療計画令和4年度取組状況評価シート【第1章・第2章・第6章】(案)」 ・ 資料2-2 【第1章・第2章・第6章】所沢市保健医療計画推進委員会 説明要旨 ・ 資料2-3 新しい取組実績の抜粋 ・ 資料3-1 所沢市歯科診療所あおぞら ・ 資料3-2 所沢市歯科診療所あおぞら アンケート ・ 資料4 令和5年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール(案) ・ 資料5-1～5-3 意見シート

担 当 部 課 名	健康推進部	部 長	越智 三奈子
		次 長	大出 久美
		保健センター長	中村 まさみ
		保健医療課長	河西 秀樹
		保健医療課主査	佐藤 征逸
		保健医療課主査	八川 麻紗子
		保健医療課主任	日野 航介
		保健医療課主任	落合 健矢
		保健医療課主任	小室 明日香
		健康管理課長	松井 優子
		健康管理課主幹	
		(こころの健康支援室長)	小野寺 健
		健康管理課主幹	
		(新型コロナワクチン対策室長)	中山 倫宏
		健康づくり支援課長	岩雲 美香
	健康づくり支援課主幹	松本 加代子	
事務局 健康推進部保健医療課 電話：04(2998)9385			

※別紙 所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	出欠	備 考
1	公募委員	小野 佑季	欠	
2	公募委員	佐竹 良二	○	
3	公募委員	小平 由美子	欠	
4	公募委員	稲田 武子	欠	
5	所沢市医師会 会長	赤津 拓彦	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会 副会長	北田 徳克	○	
7	所沢市薬剤師会 副会長	塚本 京子	○	
8	所沢市柔道整復師会 会長	河合 是幸	○	
9	所沢市鍼灸師会 会長	原澤 清一	○	
10	所沢市母子愛育会	平塚 由子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会 会長	丸山 静香	○	
12	所沢市スポーツ推進委員会 副会長	須藤 貢	○	
13	所沢市社会福祉協議会 事務局長	荻野 亨	○	
14	早稲田大学 教授	扇原 淳	○	※副委員長
15	知識経験者	二上 清次	○	
16	狭山保健所 所長	辻村 信正	欠	
17	狭山保健所 副所長	田島 貴子	○	
18	埼玉西部消防局 中央消防署参事	田辺 隆	○	
19	市民医療センター長	黒木 康富	○	

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（河西）	（開会）
赤津委員長	（挨拶）
事務局（河西）	<p>本日の委員会ですが、都合により4名の委員が欠席されています。出席者が15名で、過半数を超えておりますので、条例第6条第2項の規定により、委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p>
事務局（河西）	（配布資料の確認）
	<p>次に、議事前の手続きについてですが、前回と同様に本日の委員会は公開とさせていただきます。</p>
	<p>また、「会議録は要約方式」、「発言者は委員名を記載」、会議録は「委員長の承認をもって確定」とさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p>
	（本日の議事の説明）
	<p>それでは、ここからの会議の進行につきましては、条例第5条第2項の規定により、委員長が議長となります。</p>
	赤津委員長、よろしくお願ひします。
赤津委員長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p>
	事務局に確認ですが、本日の傍聴者はいますか。
事務局（日野）	傍聴者の方が2名いらっしゃいます。
	（傍聴者入室）
赤津委員長	<p>傍聴者の方にお願ひいたします。資料と一緒に配布しております傍聴要領に従い、傍聴席では静粛にお願ひいたします。会議の妨げとなりませんよう、ご発言は控えていただきますようお願いいたします。</p>
	<p>それでは、議題に移ります。</p>
	<p>議題（1）「第二次所沢市保健医療計画令和4年度取組状況評価シート（案）の確定」について事務局から説明をお願ひします。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p data-bbox="193 277 384 309">事務局（落合）</p> <p data-bbox="193 517 344 548">赤津委員長</p>	<p data-bbox="451 277 1398 454">（資料１－１ 第２次所沢市保健医療計画令和４年度取組状況評価シート【第３章～第５章】（案）、資料１－２ 説明要旨、資料１－３ 下がる程目標値に近づき、達成度が高くなる指標及び資料５－１意見シート）について説明）</p> <p data-bbox="451 517 1398 741">修正した主な箇所は資料１－２のとおりまとめられています。大きな変更はなく、推進委員からの意見も踏まえ、事業担当課が修正、標記を追記したような形になると思います。この議案については既に前回で議論も終了していますが、ご意見ありますでしょうか。分量は多いですが、目を通したところ、あまり違和感なかったように思えます。</p> <p data-bbox="499 801 643 833">（意見なし）</p> <p data-bbox="451 902 1398 981">意見はないようですので、この部分については原案のとおり確定とし、審議は終了とします。</p> <p data-bbox="451 1048 1398 1171">それでは続いて、議題（２） 「第２次所沢市保健医療計画令和４年度取組状況評価シート【第１章・第２章・第６章】（案）の確認についてご説明をお願いいたします。</p>
<p data-bbox="193 1240 384 1272">事務局（落合）</p> <p data-bbox="193 1480 344 1512">赤津委員長</p>	<p data-bbox="451 1240 1398 1417">（資料２－１ 第２次所沢市保健医療計画令和４年度取組状況評価シート【第１章・第２章・第６章】（案）、資料２－２ 説明要旨、資料２－３ 新しい取組実績の抜粋について及び資料５－２意見シート）について説明）</p> <p data-bbox="451 1480 1398 1704">細かい内容が載っているので、どんな事業なのか、より詳しく知りたい箇所等があればご意見いただければと思います。資料にて新しい取り組みがどれかというのがわかりましたし、元々の資料の記載にはないものも把握されているようですね。資料全体を通しての意見となりますと、こちら量が多いので、１ページずつ確認していきましょう。</p> <p data-bbox="467 1765 1326 1796">（資料２－１より順に確認：３ページから５ページまで意見なし）</p> <p data-bbox="451 1865 1398 1944">６ページ、第１章第２節（１）こどもの健やかな成長を見守り育む地域づくりにつきましては、いかがでしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
須藤委員	<p>最近、3世代の家族が少ないと感じます。子育てをするのに、祖父母世代の知恵を借りて子育てに反映するような機会がないと思います。子育て支援の中で、例えば支援施設に子どもを連れて行くと祖父母世代とコミュニケーションがとれたり、交流ができたりする場や施設があったらいいなと思います。</p>
赤津委員長	<p>行政の施策で行っているものがあれば、補足追加していただけますか。例えば、私の病院の保育室では、隣のケアハウスと年に数回ですが、交流を持っています。世代を超えた結びつきは重要だと思います。子育てが孤立化しているため、親世代は頑張っていますが、行政に頼らざるを得ないこともあるでしょう。新生児訪問指導を市で行っていると思いますが、そのサポートを地元の祖父母世代ができるような結びつき、事業ができるといいですね。そのような取り組みはありますか。</p>
河西課長	<p>ご指摘のとおり、子育てにおいて、3世代交流は重要なことと考えており、保育園や介護施設等では、そのような交流が行われています。このほか、3世代で住んでいる方にインセンティブのある補助事業もございますし、施策へこのような取り組みを盛り込むことも必要と認識しています。</p>
二上委員	<p>6ページを理解するのに、子育て支援エリア「ルピナス」、発達支援エリア「マーガレット」、こども支援センター「大地」という言葉が出てきますが、この関係についてページに説明がないので、ご説明いただけないでしょうか。</p>
岩雲課長	<p>こども支援センターは、こどもと福祉の未来館の2階にあります。同センター内には「マーガレット」「ルピナス」があり、この2つを「大地」と総称しています。</p> <p>「ルピナス」では子育て支援エリアとして、4歳未満の子（未就学のこども）と親を対象とし、保護者間の交流ができ、保育士への相談もできます。また、併設されている発達支援エリア「マーガレット」の心理士、作業療法士等にも相談できるような環境となっています。両施設での連携も展開していますし、「マーガレット」は療育施設でもありますので、発達に課題があるお子さんの生活のしにくさを少しでも軽減できるように支援をしています。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
二上委員	<p>重要な施策ですね。取り組まれたものを要約して書かれていると思いますが、名前だけではなく、場所、様子がわかるような記載にしてもらえるといいと思います。</p>
赤津委員長	<p>こちらの利用には申請が必要ですか。市民が直接行っても利用可能なものでしょうか。</p>
岩雲課長	<p>「ルピナス」は対象年齢であればその場で受付をして利用可能となります。「マーガレット」は発達に関するご相談が可能です。健康づくり支援課から、ご紹介させていただくこともあります。</p>
赤津委員長	<p>市民がこの施設の場所がどこにあるのか、こどもと福祉の未来館でどんな事業が展開されているのか、記載の工夫をお願いします。</p>
事務局（佐藤）	<p>他の案件も含め、わかりやすい標記に努めます。</p>
松本主幹	<p>先程の須藤委員からの提案につきまして、世代を超えた交流としては、委員の中にもいらっしゃいますが、母子愛育会という子育て支援のボランティア組織があります。まちづくりセンターと連携し、子育てサロンなどの事業に協力して下さっていますし、近所の親世代に声をかけるなどの交流も持っています。</p>
赤津委員長	<p>地域の皆さんで助け合いができていますね。</p> <p>7ページのこどもの健康づくりについてですが、こちらは「子育て世代包括支援センターかるがも」に、ある程度機能を集約し、事業を展開していますね。</p> <p>8ページ、思春期につきましては、ヤングケアラーへの支援、相談にのることで自死を防ぐことがとても重要ですね。大人の貧困者は助けを求めるとは、若者の貧困者は助けを求めずを知らないとも言われます。気軽に相談できる事業は重要だと皆さんも考えていらっしゃるかと思います。是非ご協力をお願いします。</p> <p>9ページ、メタボリックシンドロームのことですが、若い時から介入し、健康習慣を作っていく必要があります。高齢になっても怪我をしない体づくりをということですね。</p> <p>10ページ、朝食のことです。健康の大原則として、朝食を食べることが健康増進にとって大事と言われています。習慣として市民全体が身に着けるべきですが、残念ながら今までS評価でしたがA評価となって</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>しまいました。</p> <p>11ページ、次世代に伝えたい食文化です。地産地消など市民全体が共有し、農家の方の思いが含められるといいですね。</p> <p>12ページ、孤食のことですが、話しながらごはんを食べることが望ましいですね。ちなみにスマートフォンをやりすぎると前頭葉が委縮すると書かれているのを見ました。人と人が顔を合わせて、食べることが大切ですね。給食を通して実現していくものとして示されています。</p> <p>13ページ、歯と口腔の健康です。人は足から衰えると言われますが、歯も同じですね。口腔が健康なことは大事です。これは小さい頃から取り組まなくてはいけない事業でしょう。</p> <p>14ページはむし歯のことですが、健康づくりのために歯を磨きましょうという、小さい頃からの習慣が大事です。評価は「S」なので継続していただきたいですね。</p> <p>15ページはオーラルフレイルについてです。骨粗鬆症は大腿骨、脊椎、背骨の骨が委縮します。顎骨も同じです。口腔機能を維持することも重要ですね。評価は「S」です。</p> <p>次は予防接種になります。副反応や得られる効果など議論はあるでしょうが、疾病を予防するには重要な施策だと思います。</p> <p>17ページのキャッチアップはHPVですね。筋肉注射による副反応で一斉に中止になったため、日本は欧米諸国に比べて子宮がん罹患率が高くなっているというデータもあるようです。女性だけではなく、男性も接種できる自治体もあると聞いています。子どもを守る施策ということですね。</p>
荻野委員	<p>今の17ページについて、2種混合ワクチンの接種率が令和4年度大きく低下していますが要因は何かあるのでしょうか。</p>
事務局（落合）	<p>担当課に確認したところによると新型コロナウイルスの影響と聞いています。新型コロナウイルスに罹患してしまい、接種の機会を逃した可能性があるそうです。この結果を受け、本年度は勧奨通知を発送し、接種率は回復傾向にあるとのことでした。</p>
赤津委員長	<p>新型コロナウイルスワクチンはインフルエンザワクチンのみ同時接種可能です。他のワクチンは2週間あけないといけません。色々なところに影響が出ていますね。</p> <p>次のページはがん検診について。早期発見をというところですね。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
原澤委員	<p>がん検診の受診率についてですが、がんの部位によって、対象者が異なると思います。まとめて評価しているが、それぞれのがんの受診率を分けて標記の方法を工夫してみたいはいかがでしょうか。</p>
河西課長	<p>記載方法を検討します。</p>
赤津委員長	<p>場所によって検診のしやすさ、しにくさがあると思います。それぞれに分けられるといいですね。</p> <p>19ページ脳卒中、心筋梗塞です。がんについては、法整備がされましたが、がんの次に多いのは、脳卒中、心筋梗塞です。高齢化が続くとこの部分に力を割いていく必要があると思います。特定健診の血圧など、しっかり対応していくとしていますね。</p> <p>次が糖尿病です。</p> <p>その次の21ページは認知症ですが、精神疾患の方を社会の中で見守っていくという動きがありますね。認知症は誰もがいつしかなる可能性がある病態ですので、できるだけ社会の中で受け入れていく、そのためのサポーターが必要かと思います。声のかけ方など市民の方にも理解いただきたいですね。</p> <p>22ページはうつ病など精神疾患。早期にしっかり治療することが大切です。社会の中で受け入れていくための支援、事業を実施していますね。</p> <p>次は自殺の部分。こころの悩みはみんな抱えていると思います。自死する方は少なくなってほしいですね。ソーシャルネットワークサービスに投稿されているものは、投稿されている方にとって、人生の最高レベルの出来事だったりします。普通の生活ではないものを見せられると相対的に自分が不幸に感じてしまうことがあります。そういった社会にしない、寄り添ってあげることが自然にできるようなことが行政としての取り組みとしてできればと思います。まず、自死しようとしている人のそばに何も言わず一緒にいてあげることが大切だと思っています。</p> <p>25ページは生きることの支援です。これはいつでも相談できる場所を行政で用意してあげられるといいですね。</p> <p>26ページ、事業者等のメンタルヘルスですが、これは大きな問題点として広がっています。メランコリックタイプのうつ病、適応障害からのうつ病などがありますが、どちらも支援が必要です。心の健康はひとりでも健康になれば、全体を幸せにできますね。</p> <p>6章の「計画の円滑な推進」については、色々な取り組みが書かれています。意見があれば事務局へ意見シートを提出してください。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>デジタルトランスフォーメーションについては、これからの企業に重要なことかもしれませんが、某キャリア社のネットワーク障害の影響で県内主要病院の一部で救急電話が通じなくなっていました。一部のネットワークがダウンしたことでの影響が大きかったです。結局は知恵を働かせることが大事です。何かが使えなくなってしまうと何もできなくなるということもありますので、行政の取り組みの中にも知恵を入れてほしいですね。ご質問、追加はありますか。ある場合は意見シートを提出してください。</p>
須藤委員	<p>先程、まちづくりセンターなどで3世代の交流をしていると聞きましたが、利用人数や各まちづくりセンターではどこが一番積極的なのかなど、数字的なものは出ているのでしょうか。</p>
松本主幹	<p>まちづくりセンターでは利用人数を把握はしていると思いますが、健康づくり支援課では把握していません。所沢市の母子愛育会は、現在7地区で活動をしています。また、すべてのまちづくりセンターで実施しているわけではありませんが、子育て支援事業としての母子愛育班活動はのべ8回、参加者は160名とのことでした。</p>
赤津委員長	<p>保育園の待機児童が一気に増えましたね。お祭りでも、子ども連れが多かったです。子育てしながら自分だけで解決しなくてはいけないと思っている方が増えていると思います。その親世代がアプローチする場所があるということを更に周知してほしいですね。また、ボランティアマインドは事故のリスクとの背中合わせだと思っています。例えば、ボランティアで食事を提供した時にアレルギーショックを起こす可能性もあります。その時に市が間に入って、カバーをする制度があってもいいかと思います。</p>
二上委員	<p>食育の関係ですが、新たな取り組みで狭山茶の100年フードに認定されたことは知らなかったのが素晴らしいと思いました。11ページにも、同じように載っており、食育月間で関係部署が連携して取り組んでいます。狭山茶が認定されたことで狭山茶を使った料理等の食育での何か取り組みがあれば、教えてほしいです。</p>
河西課長	<p>ここで認定されたので、しっかりとPRしていく必要があると思います。そのような事業が確認できれば、改めて委員会で紹介します。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>市内のお店のお菓子で狭山茶が使われているものがあったと思います。こういった取り組みはPRしていただけるといいですね。地産地消、ブランド化などできると思います。追加はありますでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。この部分については、委員からの意見いただきましたが、その他何か意見あれば、後日意見シートを提出してください。</p> <p>議題の（３）にうつります。</p>
事務局（日野）	<p>（資料３－１ 所沢市歯科診療所あおぞら 資料３－２ 所沢市歯科診療所あおぞらアンケートについて説明）</p>
赤津委員長	<p>所沢市歯科診療所あおぞら（以下、「あおぞら」）では、在宅要介護高齢者、障害児者、休日緊急の人も対象としており、市民への貢献度は非常に高いと思います。その分、あおぞらと同様の事業を実施していない地域にお住まいの方からは診て欲しいという要望があるのではと推測しますが、その辺りの制度設計について伺いたいです。</p> <p>保険診療で実施している場合、市内在住者のみを対象とすることに対して差別ではないか、等の声はないでしょうか。</p>
河西課長	<p>診療に対するニーズは高いと認識しています。そのような声がないということは無いかと思いますが、条例で利用者を定めており、その中でヒアリングを行った上で予約をとっています。このため大きなトラブルは発生しておりません。</p>
北田委員	<p>あおぞらの週１回（木曜日）の障害児者診療はキャパシティがいっぱいの状態で実施しています。</p> <p>また、埼玉県歯科医師会が運営している口腔保健センターでも同様の障害児者歯科診療を行っております。あおぞらで対応できない場合は、口腔保健センターへ紹介する場合があります。</p> <p>他自治体でも、あおぞらと同様の施設を作ろうとしており、見学に来ていただくこともあります。今後は県内でもあおぞらと同様の施設が増えるものと期待しているところです。</p>
赤津委員長	<p>民間では手が届かないところであり、とても貢献度が高い事業と感じました。他の自治体でも行ってほしいですね。</p>
荻野委員	<p>保健センターができたとき、私自身、障害福祉課のケースワーカーで</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>した。障害児者の口腔の問題や、歯のことを訴えることができない、中にはパニックになった方もいました。車いすの方も診療先が限られていました。あおぞらができて、何人もの方からあおぞらができて助かったとの意見を何度も聞きました。とてもありがたく、必要な施策だと思っています。</p>
赤津委員長	<p>実績数が下がっているのは、数字だけでみると目についてしまいますが、事業が充実している部分が市民に伝わってほしいですね。</p>
原澤委員	<p>目標が850人とありますが、かなり無理があるのかと思います。目標の見直しが必要ではないでしょうか。</p>
北田委員	<p>障害児者歯科診療については、市の条例改正により木曜日だけでなく日曜日にも対応できるようになりました。現在の障害児者歯科診療では、静脈内鎮静法等の専門的な治療が必要と判断した場合は木曜日、定期健診や簡単なむし歯治療の場合は日曜日に行っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で数字が下がっていますが、目標の達成を目指し、現状の診療日の中で対応していきたいと考えています。</p>
事務局（日野）	<p>実績が下がっている要因としては、やはり新型コロナウイルス感染症の影響が大きいです。障害児者歯科診療について、コロナ前は障害の程度等により、診療時間が異なる場合があります。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染防止対策徹底のため、診療前後の滅菌・消毒等に時間がかかることから、必然的に受け入れられる患者数が減ってきてしまうという現状があります。</p> <p>ご指摘いただいた目標指標の見直しについては、こうした現状を踏まえ、今後も検討を続けていきたいと考えています。</p> <p>また、本目標指標は所沢市総合計画ともリンクしていますので、今後、第3次保健医療計画策定に向け、総合計画との整合性も図りながら目標指標の設定について検討していきたいと考えています。</p>
赤津委員長	<p>現在のところはこの目標を追求していく、ということですね。</p> <p>あおぞらは所沢市歯科医師会の全面協力により、一般の歯科診療所では治療が難しい方へ、行政として歯科診療を提供していることから、非常に貢献度の高い施設、事業であることを皆様にもご認識いただけたのではないかと思います。</p> <p>続きまして、議題（4）のその他です。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（佐藤）	（資料4 令和5年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について説明）
赤津委員長	<p>ありがとうございます。事務局から次の会議の説明をいただきました。大きな話題で市長が変わり、行政運営のスタンスがどのように変わっていくのかということですね。所沢市市民医療センターの再整備など、大きな課題としてあります。医療業界、介護業界は人材不足です。来年度は診療報酬改定があり、賃上げもできず、閉院してしまう医療機関も出てくるのではないかと危惧しています。その影響が公的病院に出てくると思います。スクラップ&ビルド、場合によっては大規模化などもしていけないと生き残れない可能性もあります。市民がプレイヤーである気持ちをもってもらいたいですね。ともに助け合う所沢市になっていただきたいと思います。全体をとおして質疑はありますでしょうか。</p>
扇原副委員長	<p>本日もありがとうございました。資料を見ながら、今日議論にあった目標指標については素晴らしい結果だと思います。コロナ禍であってもこのような評価が得られており、このような行政で支える仕組みがあることを市民に知っていただくことが大事だと思います。新規の事業もあり、予算も限られているため、赤津委員長が言っていたようなスクラップ&ビルドが必要です。どれに注力していくのか、内容によってはやらなくてもいい事業もあるかと思います。関心を持ってもらえるよう考えていきたいですね。例えば、保健医療計画検定のように、もっといろいろな方に知ってもらうための工夫もあればいいです。</p> <p>保健医療計画検定であれば、インセンティブもつけて、不安を煽るようなものではなく、より楽しく市を知ってもらえるといいですね。</p>
赤津委員長	<p>所沢市民医療センターの会議の発言でも、もっとみんなが集まれる場にできたらいいとの意見がありました。霞が関のリハビリ病院がそうでした。中に入るとモールみたいになっており、そこが病院になっていました。医療や介護、行政が連続性のあるものになるといいなという提案に感動しました。いろいろな世代の方と交流できる場になったらいいですね。市民医療センターのパブリックコメントが始まっていますが、どんな意見がくるのか、不安と楽しみがあります。みんなと一緒に市民を支えていけるようにしていきたいですね。保健医療計画検定、インセンティブいいですね。</p> <p>ありがとうございました。それでは、事務局にお戻しします。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
河西課長	<p>多くのご意見ありがとうございます。スクラップ&ビルドは質の高い事業を継続していくためにも必要なことだと思っています。また、市の事業に関心を持っていただくためにも、「知っていただき、わかっていただき、最終的には応援していただける」ように、周知の方法を考えたいと思います。引き続きご協力をお願いします。</p> <p>以上を持ちまして、「第2回所沢市保健医療計画推進委員会」を閉会いたします。</p> <p>（閉会）</p>